



いすぐみだより

R8. 5. 1

新緑がまぶしい季節になりました。新しい環境が始まり、始めは慣れない環境に泣いていた子どもたち。保育者が気持ちを受け止め、抱っこをしたりふれあう機会を多く作ることで、泣かずに過ごせる時間が増え、気になる玩具を使って遊んだり、笑顔も多く見られるようになり、園生活にも少しずつ慣れてきたようです。

天気の良い日は戸外に出て散歩に行く機会を作りました。保育者や友だちと手をつないだり、散歩カーに乗って戸外に出ると気分も変わり、葉っぱや電信柱を見つけて手を伸ばして触れてみたり、花や虫、車など興味のあるものを指差しや言葉で伝えてくれる子どもたちです。

食事では、泣いて食べることが出来ないときもありましたが、今では食事の準備が始まると、“まだかな”というように楽しみに待つ姿や、自分でテーブルの方まで行き、保育者が食べさせたり手づかみや食具を使って食べられるようになりました。

今月は大型連休があり、少しずつ慣れてきた子ども達も休み明けは保護者と離れる際に泣いてしまったりすることもあるかと思います。保護者の方も「大丈夫かな？」と心配になるかと思いますが、そんな時こそ「いっぱいあそんできてね」と笑顔で送っていただけると、子ども達も安心できると思います。

今月も子ども達の気持ちに寄り添い、戸外に出て気分転換をしながらたくさん体を動かして遊びたいと思います。

〈今月のねらい〉

○園生活のリズムに慣れ、安心して過ごす。

〈活動予定〉

○本園・分園交流、戸外あそび（本園園庭、公園遊び、遊歩道）、指先遊び

おねがい

○持ち物について

・紛失防止のため、すべての持ち物に記名をお願いします。天気の良い日は戸外に出ます。靴や靴下にも忘れずに記名をお願いします。

○着替えについて

①日によって暑くなったりする場合もあるため、薄手の長そでや半袖のご用意をお願いします。

②前日に洗濯で持ち帰った枚数分を補充して次の日にお持ち下さい。

○大型連休中の過ごし方について

年度が始まって一か月。子どもたちの身体は疲れもたまっている頃です。引き続き健康状態に留意していただき、お休み中も普段の生活リズムを崩すことなく、無理のないようご家庭でゆっくりとお過ごしください。遠出の外出をしたときには翌日にゆっくりと休み、リズムを整えてから登園しましょう。

